



成人学校開講式

令和4年度の城山公民館成人学校が、去る4月11日から順次開講しました。本年度の講座は、パッチワーク・キルト講座を皮切りに合計25講座となりました。そのうち、「ウクレレのある生活」と「四季に愛される盆栽とわたし」の二つが新しい講座として加わりました。いずれも学ぶ意欲にあふ

れた受講生をお迎えして開講しました。この一年間、自らの学びの時間を大切にしていただくとともに、ご指導いただき先生方や共に学ぶ仲間との交流も深めていただけたらと願っています。
さて、2月には、「城山公民館成人学校作品展」を開催する予定です。受講生の皆様の一年間の学びの成果が発表される場となります。皆様のご来館をお待ちしています。
なお、成人学校はまだ定員に余裕のある講座もありますので、お気軽にお問い合わせください。見学も可能ですので、ぜひお出かけください。
一方、コロナ禍のため、今後

も継続して感染予防の取り組みが求められていますので、これからもご協力をよろしくお願いいたします。
「四季に愛される盆栽とわたし」講座を受講して
風間 正子
館報で、今年から新たに開講したこの講座を知り受講の申し込みをしました。盆栽に興味があったのが一番ですが、お店でかわいいと思った植物をいつも家で枯らしてしまい、すっかり育てるにはどうすればいいかと思いつきました。また、新しい趣味をもちたいという気持ちもありました。
受講してみても、日頃育児では出会えない方々、人生の先輩方と出会い、教えていただくこともあり、お話しできることがとてもうれしかったです。
講師の山本先生は、私のような全くの初心者にも、根気強く真剣に教えてくださいます。細かく丁寧に教えていただけたら、これからは、しっかりと盆栽を育てていきたいです。

「ウクレレのある生活」講座を受講して
松橋 仁一
この講座を受講したきっかけは、あるウクレレ演奏家が、ウクレレの演奏が自らの白血病との闘いの支えになったことを新聞で読んだこと、また、ある本でウクレレの演奏は認知症予防になるということを知ったことです。
昨年度、城山公民館で開催された「ウクレレを楽しよう」の市民講座を体験し、ウクレレは頭も使いとて面白いことを実感しました。そして、自分も弾き語りができるようになりたいと思いました。
4年度から、成人学校にウクレレ講座が新設されることを知り、さっそく受講しました。まだ数回の授業ですが、大門先生の教え方がとてもいいので、個々のレベルに合わせて指導していただきありがたいです。また、焦らせずに、出来栄を評価していただけることがうれしいです。

お知らせ

- 《開講を延期している講座》
- 書道「写経入門」(火曜 午前)
- 書道(火曜 夜)

- 令和4年度 城山公民館職員 公民館関係組織
- 館長 小池 英樹
 - 係長 齊藤 弘
 - 職員 花井 敦子
 - 清水 祐希
 - 星野紗緒里
 - 分館長 黒井 昭
 - 分館主事 北條 千秋
 - ▽「館報城山」編集委員
編集委員長 柄澤 申一
編集委員 山口 美緒
山口 茂文
萩原 道朗
 - ▽城山公民館運営審議会委員
第一地区住自協会長 小池 公雄
第一地区福祉ワーカー 岡村 貴子
第一地区地域公民館連絡会 北條 千秋
第二地区住自協会長 寺島 頼利
第二地区青少年健全育成委員長 石坂 真一
第二地区教養文化部会 副部会長 松木 秀樹
ブックシェアリングなごの実行委員会代表 草野絵里子
加茂小学校長 唐木 英俊
柳町中学校長 北村 康彦

特別寄稿

裾花川と長野市街地 その 1
裾花川の扇状地の上にある長野市街地

戸隠地質化石博物館

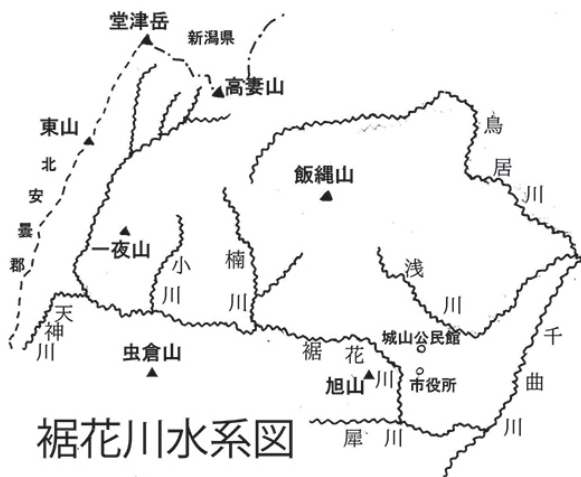
田辺 智隆

城山公園に長野県立美術館を建設した際、その地下から出てきた石ころは裾花川が運んだものだとわかりました(館報城山190号参照)。その決め手となったのは、石ころの中に含まれていた戸隠連峰の高妻山(標高2353m)の岩石です。地形的に、中心市街地は裾花川をつくった扇状地の上にあることは明らかです。しかし、実際に高妻山の石ころを確認できたことは、戸隠の地質を調べている私にとって大きな衝撃でした。善光寺の地下や市街地坂などは、



裾花川の源流 高妻山 (長野市最高峰)

高妻山から流れだした裾花川の水と、川が運んだ土砂でできているということを実感することができました。



裾花川水系図

また、この館報の連載でも紹介してきたように、裾花川の水は鐘鑄堰をはじめ多くの用水の源でもあります。加えて明治時代後期、この川の水を使った長野県初の水力発電所が茂菅につくられました。つまり、長野市は裾花川の恩

恵を生かして発展してきた街だといえると考えています。裾花川の扇状地がひろがっている、ということは、かつての裾花川は流れを変えながらその上を自由に流れていたことを意味します。つまり、長野市街地は裾花川が氾濫を繰り返してきた場所だったということでもあります。裾花川は氾濫を繰り返す「荒れる川」としても知られていました。中でも昭和24年(1949)8月、台風による大雨で大きな水害が発生しました。長野県庁の南で堤防が決壊し、長野駅周辺も1mほど水が流れ込んだという記録があります(館報183号)。この水害を契機に、市街地を守るために大規模治水が計画され、裾花ダムや奥裾花ダムの建設が始まりました。今回から新たに始まる連載は、長野市街地をつくり、人々の生活にも深くかわっている裾花川をテーマにしました。とても深い谷を流れる裾花川は、かつて「日本百景」に

も選ばれ、風光明媚な観光地でもありました。その谷沿いは長野県を代表する地層の観察場所、戸隠地質化石博物館の大事なフィールドでもあります。こうした地層も含め、裾花川の特徴を紹介していきます。高妻山や堂津岳の新潟県境、北安曇郡境などの源流から、鬼無里・戸隠・芋井・小田切を経て、犀川に合流しているのかを学び、長野市街地に暮らす人々とのつながりを考えていきたいと思います。



裾花川と犀川の合流点 (丹波島橋西側)

転任のごあいさつ

坂田 結希



6か月間という短い時間でしたがお世話になりました。

年明けからコロナウイルスの影響で休館になり、お会いする機会が減ってしまいましたが大変残念でしたが、成人学校やサークル活動に励む皆様の姿に、生きがいをもって学び続けることの大切さを教えていただきました。また、素敵な本を紹介ありがとうございました。城山の美しい四季の中で、皆様がますますご活躍されることをお祈り申し上げます。(市企画課へ転任)

着任のごあいさつ

星野 紗緒里



4月1日付けで、家庭・地域学びの課から転任してまいりました星野と申します。初めての公民館勤務で緊張の日々ですが、早く仕事に慣れるよう一杯頑張ります。

最近では城山公民館区をよく知るため、仕事帰りに寄り道をすることが日課です。皆様のおススメの場所やお店など、ぜひ教えていただけるとうれしいです。

シリーズ我が町 岩石町 区長 高橋 幸隆



に訪れます。

1月19日と20日には初えびす祭りが行われ、お種銭貸し出し(初めてのの方は、最初にお種銭をお借りして、翌年の初えびすに倍にしてお返しする)が行われます。20日には、開運招福福引(先着2000名)があります。

岩石町は、善光寺東参道の南側に位置しており、善光寺から徒歩5分ほどの所にあります。戸数や人口は多くありませんが、昔から落ち着いた佇まいの町です。

また、えびす講でおなじみの西宮神社が鎮座している町として知られています。毎年11月には、えびす講が行われます。11月19日には、宵えびす、20日は本えびすが執り行われ、多くの参拝者がお参り



西宮神社

その他、町内には、善光寺七塚の一つである虎ヶ塚(とらがつか)があります。これは、善光寺七小路の一つにもかぞえられる虎小路(武井神社の北側)の一角にあり、親の敵討ちを果たした曾我兄弟の長男、曾我十郎祐成の側室、虎御前の墓といわれる塚です。

また、付近には、虎御前が庵を結んだとされる虎石庵跡があります。虎御前は、ここで、日夜曾我兄弟の冥福を祈りました。そして、この虎石が岩石町の名前の由来になっていると伝えられています。



虎ヶ塚

一方、町内には、イタリア料理屋さん(門前カシエット)、豚カツ屋さん(成満堂)、古本喫茶(大黒屋)等の飲食店があり、東欧雑貨のハーロンヌービルという、ヨーロッパのアクセサリーを扱う店もあります。

岩石町の年間行事は、現在はコロナ禍でありますので開催が難しいですが、通常の年の開催の場合は、4月に古緑神社春祭り、5月初めに町の総会、6月は町役員会と春のごみゼロ運動、9月は敬老会、古緑神社秋祭りと秋のごみゼロ運動、12月は歳末防犯で夜警、年が変わって、1月中旬に町の新年会を行っています。

一日も早く、以前のような普通の社会生活に戻って、町の行事ができるように願っています。

折々日記 茂菅大橋にフェンス設置 柄澤 申一

今年は、七年に一度の国宝善光寺の御開帳が開かれました。そのすぐそばの信州大学教育学部から西方、旭山と頼朝山トンネル手前の国道406号線(戸隠・鬼無里街道)にある裾花川茂菅大橋欄干に、昨年の秋、落下物を防止するために防護柵フェンスが設置されました。

国道406号線は、長野県大町市から群馬県高崎市を結ぶ大変重要な国道で、今回、改良工事のひとつとして実施されました。竣工前に、湯福神社の齊藤宮司様により安全祈願祭で住民の皆様と共にお願いをしていただきました。おかげさまで、フェンス設置以降落下物もなくなり住民の皆様が安全安心に通行ができて喜んでいきます。

機会があれば、この風光明媚な裾花峡の入り口を展望してみてください。茂菅大橋の上から裾花川・長野商業の野球グラウンド・里島発電所等を眺め、遠くには菅平高原等を眺めていると、心に鋭気を養える素晴らしいところです。

サマーコンサート 心にしみるフルートの調べへ 演奏 杉山由一氏 8月18日(木) 14:00~15:30 城山公民館 第二地区分館 持ち物(マスク・上履き) 要事前予約

美しく輝くガラスで作ろう ステンダグラスの世界 7月20日(水) 13:30~15:30 場所:城山公民館 材料費:2,500円 持ち物:ゴム貼り手袋(軍手でも可) <<講師>> ステンダグラス作家 山口 利一さん

こころからだをほぐす 癒しの アロマ時間 日時:7月14日(木) 時間:10時から正午 場所:城山公民館 材料費:500円 講師 中野 崇昌

ひよこくらぶ 親子で楽しむ七夕の音楽祭 7月7日(木) 10:00~11:30 場所 城東小学校 定員 親子10組 (要予約) ガズレシ 信州 小林 英美さん 中澤 恵美さん

ご案内 今後の市民講座 お申込みを お待ちしています

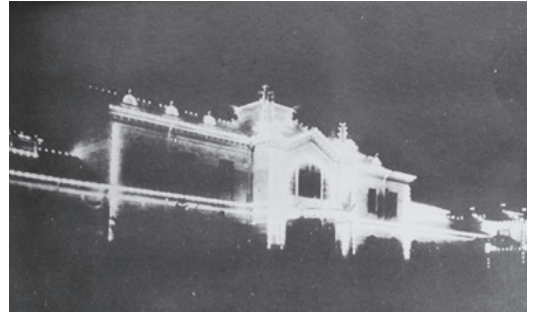
城山公民館 歴史シリーズ
城山公園
 番外1

城山公園一帯が、時代の流れの中で変貌する前に、その歴史をたどり、長く記憶にとどめておきたいと考えこのシリーズがスタートしました。今回は、シリーズをいくつか振り返ってみたいと思います。(号数は館報№)



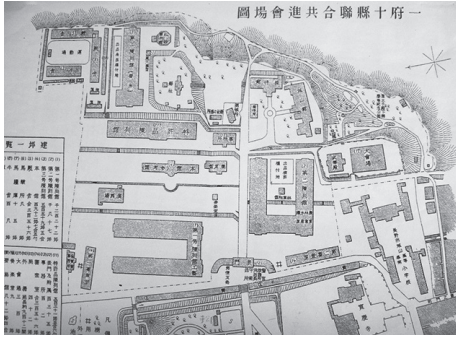
シリーズその1 (181号) 御慶事記念公園

公民館東側斜面の公園。時の東宮殿下(後の大正天皇)の御慶事(御成婚)をお祝いするため、長野市が明治36年に新設した御慶事記念公園。各所に配置した石は駒ヶ岳・浅間山より、植え込んだ桜・松・紅葉などは多くを東京から取り寄せて造園された。



シリーズその2 (182号) 一府十県聯合共進会本館

一府十県聯合共進会は、当時の国策であった殖産興業の推進に向け、農工業の技能を進めるべく、明治41年に城山一帯を会場に開催された。写真は、共進会本館のイルミネーション。



一府十県聯合共進会 会場図



シリーズその3・4 (183・184号) 御大典記念公園

城山一帯を、「善光寺のお膝元にあつて市民や来客を慰めるに足る一大遊園地」という願いに基づき、御大典記念(大正天皇即位記念)公園が、大正5年に完成した。大噴水は、当時東洋一を誇った。



平成時代の噴水周辺

あちこちスナッパ



駒形嶽駒弓神社本殿(上松)

駒形嶽駒弓神社は、古くから善光寺奥の院と称され参拝者が多かった。本殿は善光寺と同じ撞木造りで、木馬4頭が神馬として祀られる。



タツネ(上松2丁目)

タツネは、急坂の意味。駒形嶽駒弓神社へ氏子中の村人が参詣した参道である。

新刊図書のご案内

- | | |
|----------------------|---------|
| ミス・サンシャイン | 吉田 修一 |
| 母の待つ里 | 浅田 次郎 |
| 日本一バズる農家の健康ブロッコリーレシピ | 安井ファーム |
| 彼女の背中を押したのは | 宮西 真冬 |
| 妖怪横丁大運動会 | 広瀬 克也 |
| 漆花ひとつ | 澤田 瞳子 |
| りえさんの365日のお漬け物 | 大島 リエ |
| にんじんようちえん | アンニョンタル |
| 幸村を討て | 今村 翔吾 |
| 心心 | 石田 衣良 |
| 人でなしの櫻 | 遠田 潤子 |
| マスカレードゲーム | 東野 圭吾 |

編集後記

後記を書くにあたり城山公民館の近況を復習しようとウェブサイトを開いたところ、4月に香道の市民講座があったという記述を発見。ちょうど5月に3つの香りを聞いて異同を当てる香道体験をし、非常に面白く、また機会があればと思っていたところでした。既にこんな身近で開催されていたとは。感度を高めアンテナを張る必要性を感じるとともに、市民講座の多様さに感服。成人学校もはじまりたいですね。(山口み)